



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2016年6月②号

介護保険制度の改善と総合事業に関する申し入れ

日本共産党市会議員団

日本共産党市会議員団は、京都市が2017年4月から実施する「介護予防日常生活支援総合事業（以下総合事業）」について、市内の訪問介護事業所と通所介護事業所690事業所を対象にアンケートに取り組み104事業所からの回答を得ました。

「介護報酬が下がり経営が苦しくなっている」「介護労働者に対する評価や賃金が低く人手不足が深刻になっている」などと切実な実態やご意見が寄せられました。「経営が厳しくなった」と回答した事業所は80.7%ありました。総合事業について48%の事業所が「詳しく知らない」及び「知らない」と回答しており、総合事業への参入も「検討中」と回答した事業所は59.6%ありました。すでに「参入しない」と決めている事業所が10.5%あり、利用者の約4分の1が要支援者であることから、要支援の方々の訪問介護及び通所介護の受け入れ先が狭くなる可能性があります。

京都市の提案では、家事援助を中心にした生活援助の訪問介護（ホームヘルパー事業）は現行の約8割の報酬にすることになっています。そうすると、事業所の経営は厳しくなることは明らかです。少ない研修を受けた無資格者の導入も考えており、ヘルパーさんたちからは「介護をバカにしないでほしい」と怒りの声も届いています。

日本共産党市会議員団は、これまで通りの報酬を行い、国に対しても、そもそもの介護報酬の引き下げを改善させることを求めました。



介護担当局長に申し入れを行う、日本共産党市会議員団。中央が山中団長、その右が玉本なるみ市会議員

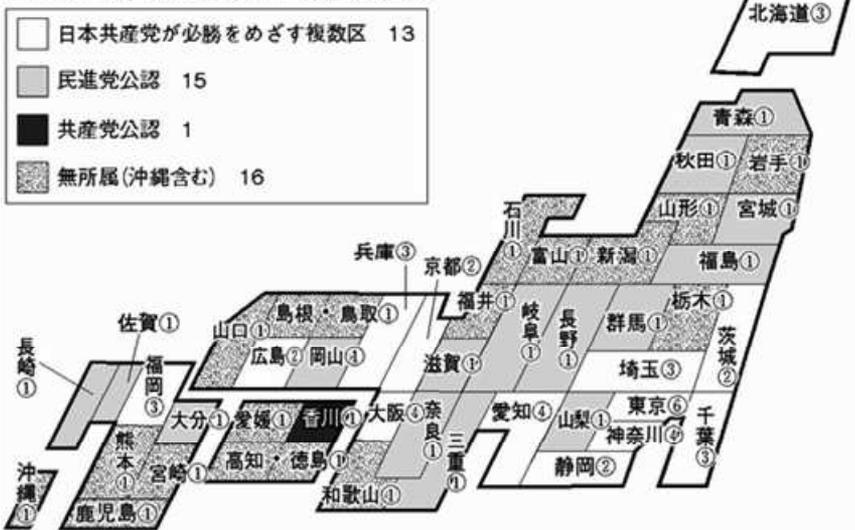
新しい政治の流れ

危険な「安保法制（戦争法）」の廃止を！の大きな国民運動の力が、野党共闘の統一候補を32人も誕生させました。

18歳選挙権で若い方々の願いを政治に！

野党統一候補は、1人区32人中全員に！

2016年参院選選挙区（数字は改選数）



京都市会のトピックス

昨年4月の一斉地方選挙で、選出された京都市会議員は、当初、自民党は21人でしたが、左京区の議員が無所属議員になりました。さらに、地域政党京都党は5人でしたが、1人が無所属になり4人に、維新と無所属議員の会は5人でしたが、団長が無所属になり4人の会派になりました。出発当初はいなかった無所属議員が約1年で3人も誕生しました。16年ほど前にも、無所属で当選した方が、途中で自民党会派に入った方が2人おられましたが、選挙で市民から投票していただき、議員になりながら、諸事情で、会派や政党を任期中に変わるって、市民に聞かなくていいの？と言われかねません。新しく無所属になった方の部屋を作ることに苦勞する議会です。

若者の未来のために

アンケート

みやこメッセの集会で、私学の女子大生の訴えに、感動しました。きょうだいで、5人をお父さんが一人で育ててくれていて、大学にも進学させてもらった。子ども達のために働き詰めの父親への感謝の気持ち溢れ、声を詰まらせたの訴えに多くの参加者も涙しました。



も子どもも両方を苦しめているのです。国が私学への助成金を増やすことが求められます。学費は半額に、奨学金も給付制を創設すること。少なくとも、有利子ではなく、すべて無利子にすべきです。私も若い時、日本育英会の奨学金を借りていました。働きだして、返せましたが、今の学生さんの話をお聞きすると、奨学金の借りている額が多く、返済額が数百万になっている人もあります。それは、やはり学費が高すぎることに問題があります。下宿している方は、学費は親に出してもらっているけれど、生活費はバイトと奨学金で賄っておられます。そうすると、月10万円程度借りておられると4年間で480万円となるわけです。なんとかしらないと！若い方々の未来を応援すること。それは政治の責任です！

